

報道関係者各位

2022年 7月 6日

株式会社ディアイティ

エンドポイントの特権管理 「CyberArk Endpoint Privilege Manager」を販売開始

セキュリティ対策の No.1 セキュリティソリューションカンパニーを目指す株式会社ディアイティ(本社:東京都品川区、代表取締役社長:戸田 勝)は、特権アクセス管理製品として市場をリードする CyberArk Software 社(本社:米国マサチューセッツ州ニュートン及びイスラエル ペタク・チクヴァ)の CyberArk Identity Security Platform の一部製品、**CyberArk Endpoint Privilege Manager** の販売を 7月6日より開始します。

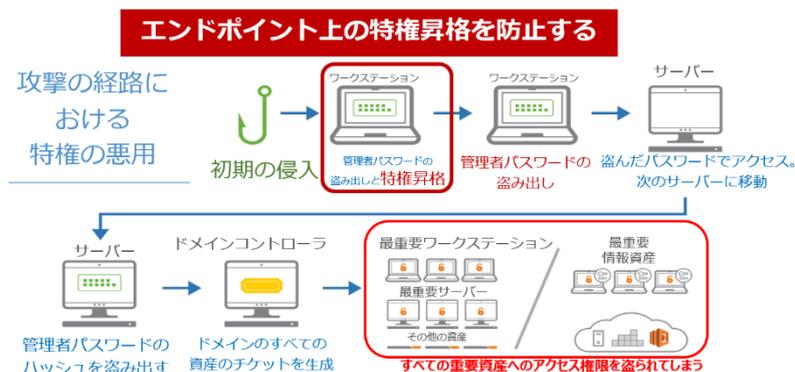
コロナ禍におけるリモートワークの推進が社会に浸透してしばらく経ちますが、テレワークは導入の段階を通過し、今後は先進技術を利用したより業務効率の高い形態が求められています。また、多様な働き方の許容が求められ、それに合わせてセキュリティ対策も合わせていく必要があります。

従来のエンドポイント用アンチウイルス(AV)製品の導入に加え、昨今では EDR を導入することによってウイルスのみならずウイルスによらない攻撃を検知・防御する仕組みも普及しつつあります。

しかし、AV も EDR も特権を持つ攻撃者から保護することはできず、エンドポイントでの特権を管理しなければ、AV や EDR のエージェントを抑制したり、完全に無効にしたりすることができます。そのため、ローカル端末における特権利用についても管理と監査を行き届かせていく必要があります。

SaaS ソリューションである **CyberArk Endpoint Privilege Manager** は、ローカル管理者権限の削除、最小特権の適用、エンドポイントセキュリティスタック全体の改ざん防止により、企業が自信を持って攻撃から防御できることを意味し、同時に運用効率化、IT ワークフローの合理化、IT サービスデスクの負荷軽減を促進することが可能です。Windows、Linux、Mac の各プラットフォームのエンドポイントを保護するための統一されたインターフェイスを搭載しているため、たとえば、侵害された正規のユーザーを介してでも、不正侵入やランサムウェアによる攻撃に対して絶大な効果を発揮します。

これにより、権限昇格と認証情報の漏えいによる水平移動、垂直移動や攻撃用ツールの導入を防ぐことができるため、例えば端末経由で侵入されたとしても攻撃者は有効な施策を打つことが非常に難しくなり、報道されるような大きな被害の発生を防ぐことが可能となります。



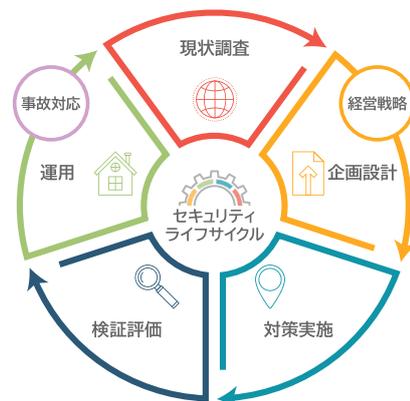
※ 本文中に記載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

※ Copyright dit Co., Ltd. All rights reserved.

- 販売価格
サブスクリプション

- 販売ターゲット
政府機関、一般企業、製造業、金融業、等

ディアイティは、これまで養ってきたノウハウで設計、構築、運用サポートを提供し、お客様が抱える課題に対しては、製品・サービス・開発含め、セキュリティライフサイクルに沿ってサポートします。



- 株式会社ディアイティについて

ディアイティは、1985年12月に設立され、東京都品川区に本社を置くコンピュータネットワーク及びセキュリティに特化した企業です。ネットワークの安定運用のための製品やネットワーク・セキュリティのための製品の開発及び提供、システム構築、情報セキュリティコンサルティング、フォレンジックサービスなど幅広く手掛けています。

- お問い合わせ先

〒141-0032 東京都品川区大崎二丁目9番3号 大崎ウエストシティビル

株式会社ディアイティ

※2021年8月16日に本社事務所を移転いたしました。

電話番号 : 03-5634-7655

E-mail : press@dit.co.jp

dit Web サイト : <https://www.dit.co.jp/>

dit 製品ページ : <https://www.dit.co.jp/products/cyberark/epm/>

※株式会社ディアイティは、フューチャーグループの企業です。

※フューチャー株式会社(東証プライム:4722)は持株会社です。

(http://www.future.co.jp/company_profile/future_group/)